

Diocese of Takamatsu

カトリック高松司教区

〒760-0074

香川県高松市桜町1-8-9

E-mail: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp

電話 087-831-6659 FAX 087-833-1484

Catholic Diocese of Takamatsu

Prot.No. 27/20



Chancery Office

Catholic Diocese of Takamatsu

Sakuramachi 1-8-9,

Takamatsu-shi, 760-0074

Kagawa-ken, Japan.

E-mail: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp

TEL.087-831-6659 FAX.087-833-1484

2020年5月7日

カトリック高松教区の皆さま (最新版)

高松教区 司教
使徒ヨハネ 諏訪榮治郎

† 主の平和

先に政府の緊急事態宣言に合わせて、「高松教区としては「緊急事態宣言」が解除されるまで、各小教区での主日の公開ミサは自粛する」よう通達いたしました。5月6日に期限を迎えた緊急事態宣言について政府は、対象地域を全国としたまま5月31日まで延長することを正式に決定しました。新型コロナウイルス感染の拡大阻止と終結に向けて、国民一丸となって外出自粛などが求められています。

経済活動のみならず市民生活を多くの領域にその影響がすでに出ており、私たちカトリック教会も社会的責任と自覚を共有し行動を制限してきましたが、信仰の実践を含め教会の活動に大きな影響が出て来ています。そこで、今回の延長を踏まえ、教区の皆さまに以下の要請をいたします。

I. 非公開ミサについて： 今まで通り、継続します。

主日にミサに与りご聖体を拝領することは、信徒への基本的な恵みであり喜びです。感染対策への協力のためとはいえ、これを制限し制限されることは私たちにとっては血を流すような犠牲ですが、国民が国を挙げて新型コロナウイルスに対する戦いに耐えている状況下では私たちもともに犠牲を捧げたいと思います。主日に集まって、ともにミサを捧げることは、今しばらくお控えください。司祭は、主日の定例の時刻に小教区民のためのミサを捧げていますので、同じ時刻に司祭と心をついに自室で、出来れば家族そろって聖なるひと時を過ごしてください。その日の「聖書と典礼」を使つての黙想や念禱で神さまとの交わりを深めることもできます。「聖書と典礼」は教会に置いてあるので、自由にお持ち帰りください。インターネットで放映されている主日のミサを助けに使うこともできます。

II. 告解や聖体訪問、個別の聖体拝領について： 強く勧めます。

大勢が集まることは控えたいですが、一人または少数で聖堂を訪ね、祈りや聖体礼拝をすることは強く勧めます。必要であれば司祭に連絡し、告解をすること、また、個人的に聖体拝領をすることなどは控える必要はありません。勉強会などは、各司祭が状況を見て判断されるでしょう；マスクなど標準防護策を守り、参加人数がおおむね10人以下で参加者連絡先を記録することが必要です。

Ⅲ. インターネット環境の整備について： 今の状況ではこれを避けることはできません。

教会だけでなく、産業界や教育の現場など日本社会のあちこちで、コロナウイルスによる危機への対策として、インターネットの利用が避けられないものとして動いています。教区では、これまで使えない人への配慮を優先してインターネットの利用は補完的なものとしてきましたが、数か月間にわたって皆が会えないという状況を考え、教区は今後、インターネットを前提として私たち相互のコミュニケーションを考えざるを得ません。司祭も信徒の皆さんも、どうぞ、今後はそのつもりでお願いします。具体的には、教区の会議は Zoom を用いて人の移動は失くす方向で、教区からの連絡もホームページやメールによって行う方向に、出来るだけ早期に移行します。これは経費や時間の節減にもなります。

Ⅳ. 教会家族としてのつながりを守るために： ぜひ工夫し、心がけてください。

非公開のミサと云いネットの利用と云い、人間的な出会いのない環境を強いられています。私たちは家族です。外出自粛などコロナウイルス感染対策は、現実には、多くの高齢者や一人暮らしの方々の孤立化をもたらしています。各小教区にも多くの孤立しやすい方々がいらっしゃいます。どうぞ、その方々に電話をかけたリファックス、手紙など、連絡を取り合ってください。社会的なマナーを守ることは前提ですが、今は一歩進んで、顔を会わせないままに過ごしている方々にも家族としてのつながりを保ち・作って下さるよう、切にお願いします。

Ⅴ. 教会維持費・献金について：

外出自粛を受け主日のミサに集えないため、教会維持費や堂内献金も定期的にできない状況が続いています。コロナウイルス禍の中で多くの人々が経済的にも追い込まれており心が痛みますが教会も困っています。小教区ごとに工夫をされておられると思いますが、教会に来れない時にも金額の多寡にかかわらず神さまへの捧げものとして献金や維持費の用意をお願いします。教会での集会や諸活動ができないため支出が少なく、その点で助かっていますが、固定的な経費への支出は避けられません。教区全体でみると通常の年でも赤字であり、今年度の各小教区の運営はかなり苦しいと予想されます。支出はつねにありますので、出来るだけ遅らさずに司祭に手渡すなり聖堂の献金箱などに入れるなどして頂けたらとお願いします。

ミサ聖祭や教会活動に参加できないことは不幸ですが、これらのことにも必ず意味を見出すことができ、私たちの成長のチャンスにもなります。コロナウイルス禍の中で困っている人や苦しんでいる人々への配慮を忘れず、収束への祈りをささげてまいりましょう。教会にのみならず世界にとって、この禍も転じて福となりますように。

あらためて、主の豊かな癒しと祝福をお祈り申し上げます。